

PIPS のデータを CD-R/RW に保存する (2)

柏木 秀一

前回の CD-R に続いて、今回は PIPS と CD-RW について紹介していきたいと思います。

(3) PIPS と CD-RW

CD-RW でフロッピーディスクと同じように読み書きができるようにするには、パケットライティングソフトが必要となります。ここでは前回の CD-R のときに使用した B's Recorder Gold (BRG)と同じ BHA 社が開発した B's CLiP を使用していきます。BRG は CD-R にデータを保存する(焼く)ときに起動しましたが、B's CLiP はインストールすると Windows 起動時に自動的にスタートして、日本語入力ソフト(MS-IME 等)やウイルス検知ソフトのように常駐します。タスクバーで右下の向きに水色の矢印みみたいなものが出ているのが B's CLiP です。右の例では左から 3 つめが B's CLiP となります。

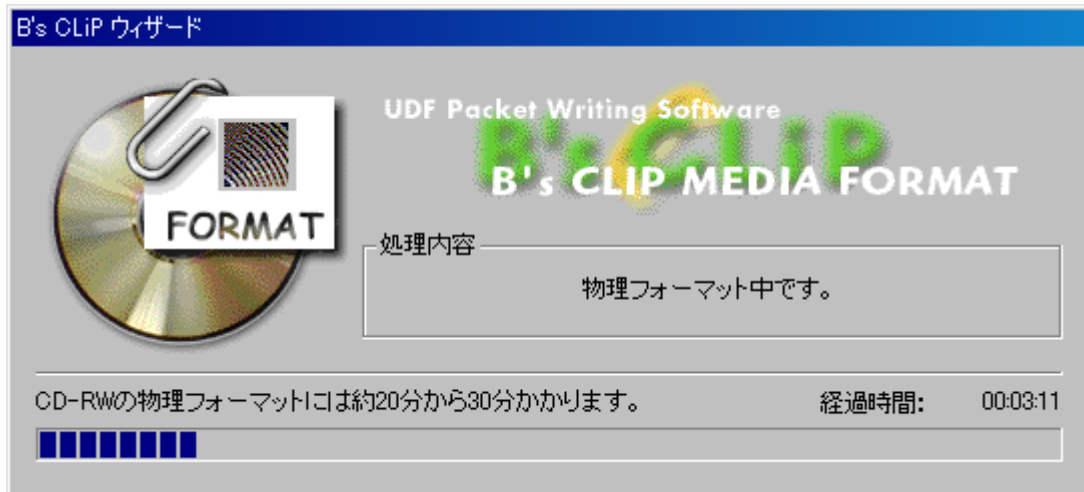


CD-RW の場合は、フロッピーディスクと同じようにまず、フォーマットを実行します。ブランク(未フォーマット)の CD-RW をドライブにセットしますと、常駐している B's CLiP が検知して以右のように自動起動します。



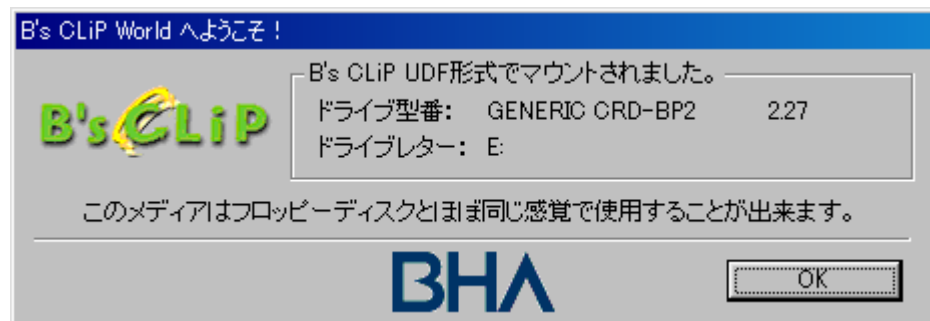
このまま B's CLiP を選択して、メニューに従ってフォーマットを実行します。私が使っている CD-R ドライブではフォーマットに 30~40 分を要しますので、時間があるときに予めフォーマットだけしておくとい良いでしょう。

フォーマットが完了すれば、PIPS からコマンドで読みこみ(G 等)や書きこみ(P 等)ができるようになります。あとは CD-R と同じようにドライブの対応スピードに注意してください。最近の高速ドライブでは CD-RW でも 10 倍速で書きこみができるものが出てきましたが、少し前までは 4 倍速まででした。CD-R は「1~16 倍速対応」のように一つの CD-R でいろいろな速



度に対応していますが、CD-RWは1～4倍速と4～10倍速に分かれていますので、注意が必要です。

さてフォーマット済みのCD-RWをセットすると右のようなメッセージが表示されますが、まさに「フ

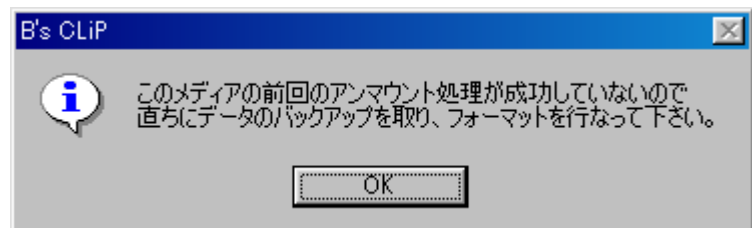
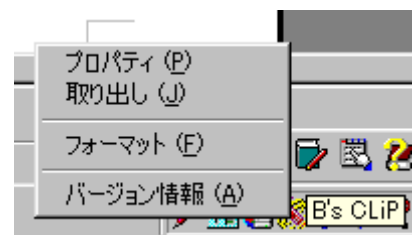


ロッピーディスク」のような感覚で使えます。PIPSからINでキャビネットを作成したり、TRBでキャビネットをコピーしたりできます。ただし書き込み速度は最新のドライブでも10倍速までですので、期待はできません。

CD-RWをセット(マウント)した状態でタスクバーのB's CLiPは濃いピンクで左上に向けた矢印になります。



ここで前口さんの記事(備井久作 事件簿)にもありますが、CD-RWを取り出すのにドライブのボタンを押してもトレイは出てきません。このB's CLiPの矢印のところにマウスを持っていき、右クリックでメニューを出して取りだし(J)を選択しないと取り出せません。これはCD-RWをセットすると「マウントされました」とありますので、取り出す前にはアンマウントのような作業が必要なため、ボタンで勝手に取り出せないようになっていたものと想像します。右はCD-RWを使用中にパソコンがフリーズしてしまい、リセットをかけた後で、もう一度CD-RWをセットしたときに表示されたメッセージですが、これを見ると「アンマウント」の処理が必要なようです。



□